



学校教育目標 「地域に誇れる 地域が誇れる 加茂小の子 ～自分よし 相手よし みんなよし～」

令和8年度重点目標『やってみよう』

加茂小だより

令和8年度

6月号

「観音山は感動山！」～みんなで協力 楽しく学んだ観音山～

5月21日～22日、5年生が観音山自然教室に行ってきました。

天気を心配しながらの出発でしたが、森林浴ハイク、キャンドルのつどい、ネイチャーOLビンゴと、5年生が力を合わせる活動がたっぷりできました。活動の中で「5分前行動はどうすればできるのか。」「自分たちで動くとはどういうことなのか。」それぞれが考えて行動に移し、「やってみよう」への一步を踏み出した2日間でした。



(活動の様子はHPに掲載中です。御覧ください。)



学校ホームページ

「自分で決める」

主体性を育む「やってみよう」の根っこにあるもの、それは「自分で決める」という経験です。学校生活には「自分で決める」機会がとてもたくさんあります。自分のことを自分で決めるだけでなく、周りとの関係の中で自分の行動を決めることもあります。そこで大事にしたいことは周りに流されるのではなく、「自分をもつ」ことです。自分はどうしたいのか考え、自分で決めたことをやってみる、うまくいかなかったらもう一度「決め直して」またやってみる、何事もうまくいくことに価値があるのではなく、「自分で決めてやってみた」という経験そのものが子供たちの心の栄養となり、自分でできた経験は自分への自信につながります。

今、児童会では「廊下歩行」に取り組んでいます。児童会本部からは「元気に外で遊ぼう」とペア遊びが提案されました。みんなが仲良くなれば思いやりの気持ちで廊下を歩くようになるだろう、思い切り遊んでストレスを発散したら廊下を走らなくなるだろう、と考えての提案です。児童会本部の子供たちの素敵な思いが実り、「きまりだから」「注意されるから」ではなく、「安全だから」「みんなのことを考えて」加茂っ子の廊下歩行が進んでいくと嬉しいです。

(校長 板倉 真里)